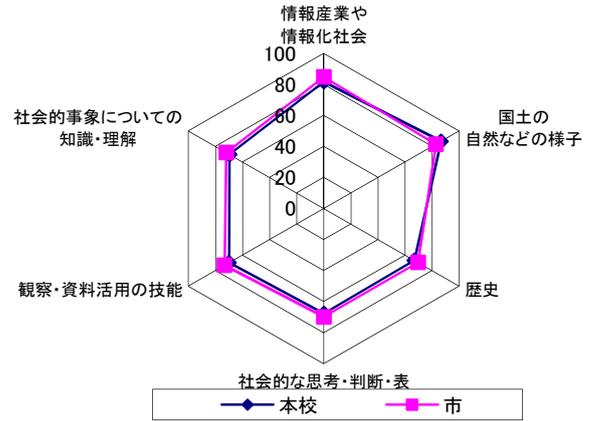


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	81.6	84.7
	国土の自然などの様子	86.5	82.7
	歴史	66.9	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	67.7	69.9
	観察・資料活用 of 技能	69.9	73.3
	社会的な事象についての知識・理解	69.7	71.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	・本校の正答率は市の平均正答率を3.1ポイント下回った。ホームページを作成する際に注意すべき内容について問う問題の正答率は、市の平均を上回ったが、メディアの特色や情報ネットワークについてコンビエンスストアを例に考察する問題の正答率が低かった。	・情報化社会の学習について、自分がインターネットやホームページを使う際に気を付けることは身に付いているが、全体的なシステムやどのように活用されているかについての理解は深まっていなかった。身の回りで実際にどう活用されているかを、実例を示しながら指導していく必要がある。
国土の自然などの様子	・本校の正答率は86.5%で市の平均正答率を3.8ポイント上回った。我が国の林業の現状や環境を守る取り組みについて良く理解できていた。	・指導の際に実例を示しながら指導したり、身近な地域の取り組みを紹介するなどしたりして、さらに理解を深めるようにしていきたい。
歴史	・本校の正答率は市の平均正答率を2.6ポイント下回った。学習した各時代の出来事などの名称を問う問題はできているが、資料をもとに考察することや出来事の背景を問う問題の正答率が低かった。	・各時代の代表的な出来事は、どのような時代背景や変化があって起きたのか、総合的に考えられる力を高めていく。その時代を理解するためにも見学や資料を活用するなどして、学習した内容が定着するよう支援していく。